

<平成25年度 地球温暖化対策実行計画の施策実施状況の公表について>

地球温暖化対策の推進に関する法律第20条の3第10項の規定に基づき、岩手沿岸南部広域環境組合の地球温暖化対策実行計画の施策実施状況を以下のとおり公表します。

平成26年9月3日

岩手沿岸南部広域環境組合
管理者 釜石市長 野田武則

1. 温室効果ガス排出量

年 度	温室効果ガス排出量	前年度比	目標年度比
平成23年度（基準年度）	22,988 t (CO ₂)	—	—
平成24年度	26,126 t (CO ₂)	113.65%	119.64%
平成25年度	25,589 t (CO ₂)	97.94%	117.18%

目標年度（平成28年度）温室効果ガス排出量＝21,838 t (CO₂)

※平成23年度（基準年度）の5%削減を目標

2. エネルギー使用量の目標達成状況

種 別	平成23年度 （基準）	平成24年度	平成25年度	前年度比
コークス (t)	2,520	3,048	2,715	89.07%
A重油 (KL)	270	272	266	97.79%
昼間電力(千kwh)	433	231	235	101.73%
夜間電力(千kwh)	296	156	148	94.87%
軽油 (L)	3,000	4,500	4,400	97.78%

種 別	平成28年度 （目標）	平成24年度	平成25年度	目標年度比
コークス (t)	2,394	3,048	2,715	113.41%
A重油 (KL)	256	272	266	103.90%
昼間電力(千kwh)	411	231	235	57.18%
夜間電力(千kwh)	281	156	148	52.67%
軽油 (L)	2,850	4,500	4,400	154.39%

3. 温室効果ガス排出量が減少した要因等について

平成25年度の温室効果ガス排出量が平成24年度と比較して減少した主な要因は、災害ガレキの減少とエネルギー使用量の減少であります。

ご存じのとおり、平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」により当地区は壊滅的な被害をこうむりました。

そのため、平成25年度も引き続き通常生活ごみと併せて災害ガレキの処理を進めてまいりましたが、通常生活ごみについては震災前の水準に戻りつつあることから増加し、災害ガレキについては減少しました。

年 度	通常生活ごみ	災害ガレキ	合 計
平成23年度	27,733 t	7,699 t	35,432 t
平成24年度	30,107 t	11,359 t	41,466 t
平成25年度	31,453 t	10,382 t	41,835 t

エネルギーの使用量を見てみると、燃料が減少し、電気の使用量は前年度並みとなっております。これは災害ガレキの量が減ったことで、コークス等の使用量が減少したことによるものです。

4. 今後の対応

災害ガレキ処理は一部を除いて平成25年度で完了しましたので、今後は大きくごみ量が減少し、CO₂発生量も抑制されるものと期待されます。

引き続き燃料等の節約に努め、前年度の実績を下回るように努力してまいります。